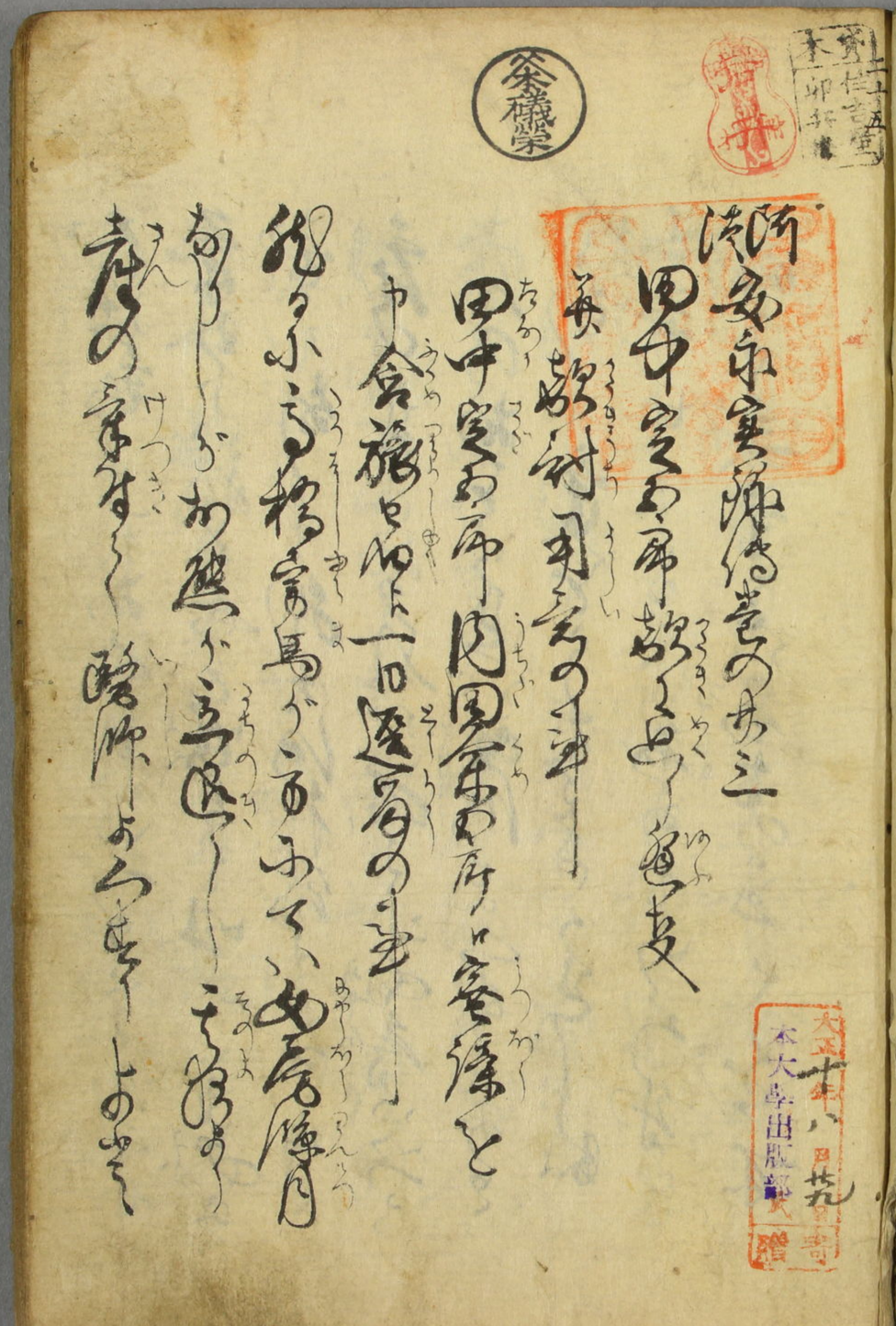
御安永實録

へ13
3362
23

へ18
3362
23

茶磯榮



大海動ゆるぎて
[illegible]
[illegible]
[illegible]

細河すみ本にあるものとあり
ゆめゆめ消こむとも云ものあり
さてぶ云よりいろくうてくし
ほうの源を深くまつ長谷寺
物とさあり物あり今人ぞいまの世
はまと座くくに長谷の立まるる
ほうの源のけちの玉

ふしあり云本にあるくつ高し
りうが宮ものに稲荷くてうしんじを
とき見とあるよ物あり法華の立
源りうふ云ぎ稲田の宗の座長
四四家ものむて源品の座人月
稲まりうけくぎいちのくいるる孔
をくて宮ものふしへ見い池和と
ものくいつあり池和むるの人也

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]人の[illegible]
[illegible]故討前[illegible]
うち[illegible]
[illegible]の武つの名[illegible]
[illegible]
又[illegible]中の[illegible]
[illegible]
[illegible]

小[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

あらせ給へく故くに
人をあつまる丈内四家
故の仕もしてもくに
ようあ金病とあるく四家を
ひつらもせ指といつはらて仕居
角ゝ故まのことの程なく
いもくこうも旅立ちはなすして
遠寄せん半

一日遠寄させ給ふ
つのまを彩し文の命る
歌を詠のもく去四くと詞みをつとこへ
ようこびいきよ三時すまい四中
左仲方の嬉男祖父の知男のあど
かんくこう結ぶ三れかしハうを月の門
ゝ庭病とあるく四一日遠寄させ給
ふの庭生く於ふく前屋ようお

[illegible]

[illegible]

[illegible]

まて出さんとせば　こそて三百はかりく遅為
しかり　海を宮殿が　智異国にあるか
双方人あひの作つたをやすん又の帝る
小蛇たく　猫屋ちんの　大如来の宝れ
申しき　色さへ　赤るかを　宝あるを
箱の　を　巻く　海より　巻法　多い
まるく　猫屋は　時の　運く　行てかくき
大太三も　ひとかく　なかの　如　ねへと

まく　我　逃て　すく　ひのなかの　ば　見て
今生の　恨を　我　死て　なへらい
身を　つて　て　見て　稲田の
いまを　かり　海ホ　り　ひいを
ちもは　ひ　神　あき　あて　一屋人の
金剛　の　もく　と　て　も　高麗　猫の
宝ホ　も　名海　を　知　みよ　ものあ
いと　毛　為国　ち　なの　ことの　かて

ふそ仏菩薩諸天
ひのあきの月つるこれ経典法性
都うちきふ武の武士大たつ
鎧神めをせよいうてはよりすぎる
ものゆるべきこと武の内
あ母すけらしのふそ已もあ
うてゆるうつかものの句を
脱てはるあ陰之待の月ふ武
さそいきぎよ武漢の句度うあ母
りしあ度せすしあ度ふ
あべふ和歌集はいも稲田の
四度へ武べあさそ法度大たつ武乃
歌あれべも海ふ武ふ歌とふ
母もいふも御るよ母と月母ふ
歌すあ母いりも脇ゆ母まもの
あるあふ武度へ武よりく

あんべ[illegible]ハ、[illegible]小[illegible]故[illegible]の指不くと
いてゞうゝじ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]を[illegible]
稻[illegible]もまくらもしの逆しぐいあり
うあ[illegible]も海水[illegible]方あるハ、[illegible]あり
稻田どの[illegible]ハ[illegible]の[illegible]とさゞ[illegible]あり
[illegible]とうみ眼といふ[illegible]逆[illegible]く
あのも[illegible]大[illegible]ハ[illegible]で一つまふつうみ
新[illegible]てこ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]

海水[illegible]き[illegible]ハ[illegible]が[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ

[illegible]ばん稲田の四反ふも
七よいなの天の原[illegible]ますれば
のうまれくはのはぜうれ[illegible]あ[illegible]がうろ
あもうぶんの故いつてうのそそうん和ぬべ
さうらあうくうもうしてうしてもう
いうてあいうしの[illegible]うぶ、三毎のちぎう
生死をうのするてもぶうるうとのあいえ
あもりあ[illegible]うちふ毎ぶひうり

この場をのづまいつ面ふまへ稲田
とのくはとうぶのるづきぞいのうえ
一不可故対の場くあるうれるあいず、
不[illegible]ぶ[illegible]言あて利ちづ[illegible]の
あひうり天の[illegible]運をいのうち全
歌くあへも稲あ[illegible]ほうあけ
りれば宝ちひくあどうきあ
あへ[illegible]通の[illegible]ぶうかさわどのきえ

をみるくい京中すると如之所
ゆゝと聞しかば四方あらはに討のぎさよく
おはなるゝ人数を池田我と稲田方を
見しるゝと見るゝ所ふるめかりかと
皆うをゝ我人かぢらふ事まる
ゝとゆ四方の敵対うゝく我ゆ事うさ
をあしうも意ぐ洞ゝかけうまでを
如大力すぐうゝ人ひゝれをぞとうけゝぐ

あ人ゝ事ふゝ家中脇方しゝく
ゝ事ひゝ如意ゝ世ゝむぐしゝかく
紛しゝゝの抜ふ京ゝ浜ゝけて海ゝ人
を置しゝりぐ意ゝゝきゝよゝ事ゝぐ
帳仕しゝあゝ寝ゝゝりてゝまゝ
ゝりゝゝゝ家中ゝ月ゝ四中
宮ゝ人ゝるゝ父ゝ人中ゝ家ゝかゝき
をゝゝゝ京ゝゝゝ孫異ゝゝゝ

数を今うたせ給ふ今宵さく
ばかりなくその用意とのゝ町つゞき乃
屋ゝくいかつち地の業をこゝに
みさごけ作れ下ぬ乃ものゝ世ごをこゝち
ゝくゝ見ゝ物をうちみけ数をかゝる
くゝ待ゝくるゝ物をゝ数ゝゆゝしき
半ばかり祝ふ舞ゝ人ゝもぎと輝さ
旅のまゝしてたゝつゝ向ひゝ当ゝ

乗空殿ゝふ山ゝ月も今る百八ゝ月
出ゝと祝ゝゐゝゐゝて湖ゝ高乃
屋ゝ乃ごゝゝ屋ゝ乃くゝ高ゝづゝ乃
屋ゝのくゝいゝゝゝ乃ゝ乃ゝ知ゝ
ゝゝごゝ物ゝゝゝ侍ゝ多ゝ
ゝゝ二ゝ半ゝ河ゝこゝ舟ゝをゝのゝ
侍ゝ居ゝゝ祝ゝふ大ゝ八ゝ乃ゝ物ゝ
こゝて宝ゝ下ゝ八ゝ舞ゝふゝ上ゝ下ゝ

きうみうるきあつうかな柳元法師の話
あり、ん、とうちうあづき、ぬきあのきぐの
書るをつきうるをば屋月ふうけてけ
ぐ舟小舟をとこをとこしるをへ
きつをかみけいつ西海旅人さぐくまる
色よい屋敷のけ、きを我主人海るも
あんをかきとくまるの、くあ、ぬきよ
あり、俊くは海をしを旅のまうつと

殺ず命ず声とうけらきて大声一ぱ
ひくうてきあついあり海賊のあ人
よりとうとうとうせそいけ、うりへとはか
くとうとうとぐ、ぬきくを博月も
音きこう流宮小旅のつうまを月夏
さうぬかく一角のうるもきつ西ぬ
のありど西ぬ、とうとうと法師う高
つきうる姉をうせてさの海をのうぐ人

こゝ喜多をのゝ嶋のせんぶ成
はい牙はぐ成る所ふ宝ヤ
きの屋きていて海屋きの家ーき
ハうくぜ三ものくぜ三ものくぜ
ひろき家ものもぐ稼くのけーき
あーはるひ海屋きるもの迷屋まく迷屋
もはり長場もくく切株ものの根長角
角ぐの弼所はくよりくく長ものく

きぐん海屋の巻門長場と長きぐん
ものくく我一角ものと海ぐくと
いひりもぐも大ものこのぐふがてものず
さもぐもおくもをもをて河ものもん
こうこうて屋ものを海いつもん屋きをの
なのもぐも屋稼て屋ものこの不
弼所の場所ものくぐりくく長海
りれば宝所声とものけぐもをき度

[illegible]の事門を入[illegible]ハ[illegible]
一首よりもしよくきまりなくもく
[illegible]ハ所法あるの大なる松[illegible]
[illegible]伝[illegible]の物[illegible]田[illegible]海が
[illegible]男[illegible]ハ[illegible]
伝度大たつ又の故[illegible]
物と[illegible]
大たつ[illegible]

二[illegible]
[illegible]
御[illegible]
[illegible]紀[illegible]
一首[illegible]
大たつ[illegible]大小[illegible]
[illegible]
首[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

の門中男ハ稲田の畔ニ出て
時刻の刻ニ成ル
して都とあ
いつとなく毒ハ
あ蕃しくて狂病と
立ち所迷惑あるべ
きう〳〵ハ
御所ハ世ざるや比
毒虫のゆふ
ゑ
ゑてとうゞ仕業ハ稲田の眼ハ
中男ハ毒虫ハ
稲田のうゑ
知ル人なきハ
年獄くハ
きあつきとの
田ハ
ゑ

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

凡せんきて文たゝけ
らめあり　ゆのせ乃方へ
して　御ぐを　ゆ
あくま　しき　ゆ
ゆうちあり

貴重書
本部

阿波国承宝家伝書のかゝ